

連合長崎第41回地方委員会

～ストップ・ザ・格差社会

すべての働く者を連合の輪へ 「安心社会」を切り拓こう！～



連合長崎は、10月20日(木)の14時から長崎県勤労福祉会館において第41回地方委員会を開催しました。

委員会は、石井副会長の開会あいさつにはじまり、議長団に自治労・本田地方委員、運輸労連・佐々木地方委員を選出して議事が進められました。

冒頭、森会長があいさつ(別記)を行い、その後、宮島民進党県連代表代行、吉村社民党県連代表より激励のあいさつを受けました。

その後、来年2月に予定されている五島市議会選挙に立候補を予定している草野久幸市議に推薦状を手交

し、ご挨拶をいただきました。

「第15回フォトコンテスト」最優秀賞の堀隆義さん(長崎県タクシー労組観光タクシー支部OB)の表彰を行い、2015年10月1日から今回の定期大会までの組織拡大実績に基づき、自治労、U Aゼンセンへ「組織拡大に関わる交付金」を授与しました。

引き続き、一般経過報告、2016春季生活闘争総括、第24回参議院議員選挙総括、2016年度会計報告・会計監査報告をし、質疑として①候補者擁立の遅れをふまえた次期選挙への早期準備態勢の確立、②野党連

携のあり方、③会計様式の統一等について意見が出され、満場の拍手をもって全会一致で承認されました。

議案については、第1号議案「2017年度運動方針(案)」、第2号議案「2017年度予算(案)」、第3号議案「連合長崎役員交代(案)」の提案を行い、それぞれが承認されました。

引き続き、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーンに関する特別決議」と「第41回地方委員会アピール」の採択後、岩永副会長の閉会あいさつがあり、森会長のガンバロー三唱で締めくくりました。連合長崎は、「ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう！」のスロー

ガンのもとに、各構成組織と連携しながら、2017年度の取り組みを進めていきます。



議長団 (左)自治労 本田地方委員
(右)運輸労連 佐々木地方委員

会長あいさつ

○政治活動について

7月に施行された第24回参議院選挙についてです。全国比例については12名の仲間のうち4名が当選に届かなかったことは、まさに断腸の思いであります。また選挙区選挙も最後に追い上げを見せたものの、惜敗となりました。この選挙は連合としてこれまでにない苦しい戦いでした。

一つに新人でありながら超短期間の戦いを余儀なくされたこと、連合が推薦を決定したのが3月8日、私たち労働団体は、参議院選挙はこれまで比例の組織内候補と選挙区候補を並行して勝利に繋げる行動を今日まで展開してきました。残念ながら3月8日時点ではほとんどの構成組織が事前の後援会活動が終了していました。そのような状況で再度組合員に後援会獲得などの行動依頼に影響を及ぼしたのは事実と思います。二つ目は過去経験が無い野党統一候補としての戦いです。従前までは民主・社民の政党と労働4団体の態勢で戦ってきましたが、今回は民進党と西岡後援会、そして労働4団体の選対であり、市民連合を介して社民・共産・生活の政党と連携をとるという体制でした。結果的にこの体制が良かったかどうかは賛否が分かれると思いますが一定の成果があったことは事実と思います。しかし、選対を取り仕切る役員や運動員にとってはその対処に苦勞されており、今後の戦いのあり方についても検証が必要と考えます。民進党についてもこの2点は真摯に受け止め年末または来年1月の可能性のある衆議院と全県一区で候補者浸透に時間が必要な次期参議院対策に早急に取り組んでいただきたいと思います。私たち労働者の政策制度実現のためにも、国

会は勿論のこと、前回の統一地方選挙で大きく減少した地方議員を如何に増やしていくかが私たちにとっても政党にとっても大きな課題であります。今まさに波佐見町では連合推薦の横山まさよ候補が議席獲得へ奮闘しています。更に来年2月には五島市議会議員選挙が施行されます。9月30日推薦決定した「草野久幸予定候補」と先程政策協定を交わしこの席にも同席していただいています。他にも来春には諫早市、西海市でも市議会議員選挙が実施されます。

私たちは政治と真正面から向き合う事の大切さを、日常活動の折々で職場の一人一人に伝えられているのか？組織の中で遠慮が広がっていないか？パイプの目詰まりが発生していないか？選挙直前だけでなくそれぞれの機会に「政治教育」の充実を図り、政治と選挙のハードルを少しでも低くする努力が必要です。労働者が目指す社会と地域の安心・安全の為にこの取り組みにもご協力をお願いします。

○「クラシノソコアゲ」と「働き方改革」について

私たち働く者にとって最大の危機は、歯止めがかからない格差拡大であります。安倍政権は「アベノミクスは道半ば」と更に加速させるとしています。しかし、3年半の金融・財政政策を振り返れば金融政策は手詰まり感を見せ、副作用も指摘されています。その中で政府の財政出動への依存が強まっており、財政規律の緩み、将来世代へのつけ回しの加速が懸念されます。その行きつく先に労働者や生活者が希望と安心を感じられる社会があるのか、見極めなければなりません。今必要なのは将来世代への責任を果たし得る政策で

す。雇用と社会保障の不安解消、教育環境の充実、暮らしの底上げなど、将来の好循環に向けた種まきをし、地に足の着いた政策転換が必要と考えます。

そうした中、安倍内閣は、最大のチャレンジは「働き方改革」であるとして、「働き方改革実現会議」を設置し、「同一労働・同一賃金」や「長時間労働の是正」さらに「女性・若者・高齢者の活躍」をターゲットとして掲げています。このようなテーマは私たち連合が掲げる政策と共通する課題が多く、私たちの主張が認められようとしていると言えなくもありません。

ただし、見据えられるべきは「誰のため、何のための働き方改革なのか」という事です。主役はあくまでも労働者であります。どのような働き方であれ男女や

年齢にかかわらず、誰もが希望をもって働き、それを支ええる持続可能な社会の実現へ実効性のある改革の方向性を示してもらわなければなりません。今、労働組合と連合長崎の真価が問われる時期に来ていると思います。「社会の不条理に立ち向かい、働くもの全ての人から信頼される」連合長崎でなければなりません。

結成以来25年「顔合わせ・心合わせ・力合わせ」という旗印のもと活動してきましたが、顔合わせと心合わせはすでに出来上がっています、今こそ力合わせに舵を切らなければならないと考えます。

力合わせで格差是正と組織強化・拡大に官民一体となって行動を強化することを訴えさせていただきます。

来賓あいさつ



宮島民進党県連代表代行



吉村社民党県連代表



草野久幸五島市議に推薦状を手交



新役員あいさつ



退任役員あいさつ

第41回地方委員会アピール

連合長崎は、本日、第41回地方委員会を開催し、「ストップ・ザ・格差社会/すべての働く者を連合の輪へ 『安心社会』を切り拓こう!」をスローガンに、2017年度運動方針を力強く決定した。

その第1は、連合長崎の最重要課題である組織強化と拡大である。

組織拡大はまさに組織の生命線である。組織拡大をはかり、働く者が公正に保護される基盤を集团的労使関係の構築を通じて拡大し、社会的波及力を強めていかなければならない。組織と組合員との対話を基本に、全ての活動を組織強化と拡大につなげていく。「1000万連合」の実現に向け、連合長崎、構成組織、地協・ブロックが一体となって仲間づくりに取り組むとともに、女性や若者の連合運動への参画を促進していく。

その第2は、労働者保護ルール改悪阻止の取り組みである。

政府は、労働者保護ルールの改悪を成長戦略の柱の一つに位置付け、働く者の犠牲の上に、投資家や企業が世界で一番稼ぎやすい国づくりをめざそうとしている。私たちは、非正規雇用や未組織労働者を含め全ての働く者の「底上げ」と「格差是正」を実現するため「クラシノソコアゲ応援団/RENGOキャンペーン」を全国の仲間と継続して展開し、政府の動きに対峙するとともに、広く世論に訴え労働者保護ルールの改悪を何としても阻止していく。

その第3は、政策・制度実現に向けた取り組みである。

「働く者・生活者」の立場にたった政策・制度の実現に向けては、連合長崎が推薦する政治勢力の維持・拡大は不可欠である。国政における「一強多弱」の現状を打破していくためにも、現在取り組み中の波佐見町議選をはじめ、明年の施行予定の首長、市町議会議員選挙は極めて重要な戦いである。全ての推薦候補者の勝利に向け、構成組織と地協の連携強化により、早急に体制確立を図るとともに、連合長崎の総力を結集し闘い抜く。また、来るべき衆議院解散総選挙及び3年後の参議院議員選挙に向けて早急に準備体制を確立していく。

今、労働組合に求められていることは、社会の不条理に対して闘う姿勢を持ち行動するとともに、連合長崎が、組合員はもとよりすべての働く人たち、そして地域から信頼される存在となり、互いに助け合い、支え合う社会の実現をめざすことであると確信する。

2016年10月20日

日本労働組合総連合会
長崎県連合会 第41回地方委員会

2016連合平和行動in根室

9月9日～12日、北海道根室市にて「2016連合平和行動 in 根室」が開催され、連合長崎から森会長を団長とする19名が参加しました。

1日目は、北海道立北方四島交流センターにて、北方四島学習会が実施され、元島民、元島民二世、北方四島返還の想いを次世代に継承していく活動をしている地元の現役高校生とのパネルディスカッションに参加しました。

2日目は、「2016平和ノサップ集会」と題して、歯舞群島が見える納沙布・望郷の岬公園で全国各地から1200名もの参加者が集まり、逢見連合事務局長や来賓者の挨拶の後、択捉島出身者の鈴木咲子さんから「一人でも多くの元島民が元気なうちに、自由に島



平和メッセージを伝える
森会長

に行けるように返してほしい」と、一日も早い返還実現を願う訴えがありました。その後、平和メッセージとして連合長崎森会長から力強いあいさつ、ピースリレーが行われた後、集会アピールが採択されて、全員のがんばろう三唱で閉会となりました。

今年は、運動の継承とリーダーの育成などをねらい平和四行動の青年委員会によるキャラバン隊が初めて企画され、毎年平和行動をリレーする沖縄・広島・長崎・北海道の各青年委員会代表が札幌に集結しキャラバン車で北方領土問題を啓発しながら、この日の集会に合流しました。

この平和行動に参加して、北方四島の返還を決して諦めることなく返還運動を継承していく事の重要性を共有しました。



キャラバン隊に参加した百田青年委員長(左から2番目)



連合長崎第15回フォトコンテスト最優秀賞が決定!

2016年9月7日(水)に「連合長崎第15回フォトコンテスト」の審査を行いました。今年は97点の応募があり、「洛陽(長崎県タクシー労組観光支部OB 堀隆義さんの作品)」が最優秀賞に決定しました。

堀さんには、10月20日(木)に開催された連合長崎第41回地方委員会で賞状と記念品を授与させていただきました。

最優秀賞



「洛陽」

堀 隆義さん

(長崎県タクシー労組観光支部OB)

優秀賞



「女神の夕景」

梅川 慎一さん

(長崎RMC労働組合)

連合長崎会長賞



「初めての海」

山口 哲男さん
(長崎県タクシー労組観光支部OB)

連合長崎副会長賞



「霧景」

小川美喜雄さん
(佐世保重工労組)

入賞



「帰り道」

橋本 邦博さん
(大村市職員組合OB)



「猫ライダー」

伊藤 清子さん
(三菱重工労組長船支部(家族))

入 賞



「竹ン芸」
西中須 盈さん
(全国一般)



「佐世保シーフェス二尺玉」
樋口 亮太さん
(佐世保重工労組)

佳 作



「待ち遠しい頼り」
長浦 敏雄さん
(佐世保重工労組OB)



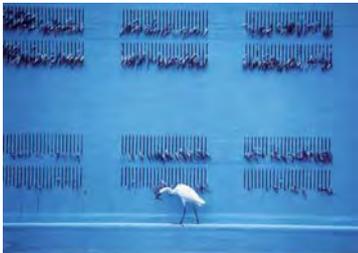
「水中世界」
池田 寛章さん
(県職長崎支部)



「集中」
矢津 充浩さん
(佐世保重工労組OB)



「小さな消防士」
松本 洋子さん
(県職島原支部)



「バイキング料理」
松井 節子さん
(佐世保重工労組OB)



「星降るホタルの里」
村井 文明さん
(西海市職員組合)



「静寂」
中村 昇さん
(佐世保市役所職員組合)



「ながさき花火」
村瀬 潤さん
(三菱重工労組長船支部)



「Sunset」
内田 貴浩さん
(佐世保重工労組)



「夜色に染まっていく(SSK)」
岩村 栄樹さん
(県職長崎支部)

「アジア・アフリカ支援米」 各地協で稲刈り!

春に田植えを行った各地協・ブロックにおいて、10月に稲刈り作業を行いました。各地協で様々なイベントを盛り込み、楽しい汗を流しました。

収穫された支援米は、現在、各構成組織へお願いしています。カンパ金で購入するお米と合わせ、来春3月に支援先に発送予定です。各地協・ブロックの役員、組合員・家族の皆様、ご協力ありがとうございました。(今年は雨の影響で、残念ながら長崎・島原・大村の稲刈りは中止・延期になっています)



諫早



北松



五島



佐世保

波佐見町議選 横山まさよ氏 トップ当選!

10月23日投開票が行われた波佐見町議選において、連合長崎が推薦した横山まさよ候補は、定数14名に対し16名が立候補した厳しい選挙戦を制し見事トップ当選を勝ち取りました。構成組織・各地協には短期間において総力を結集したご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。私たちの声を届けてくれる地方議員が一人誕生しました。今後ご支援をよろしくお願いいたします。

